

# OT初期評価 5分フロー

何から見るかを迷わない順番と最小セット | 成人・一般

「5分」は評価を5分で終える意味ではありません。評価の順番を短時間で整理する実務フレーム

## 0 安全確認 | 5ステップの前提

医師指示・実施範囲 / 全身状態・疼痛・疲労 / 転倒リスク・介助量

安全が担保できない場合は、実作業を無理に実施しない。

### 安全確認のあと、この5ステップで進める

|   |            |                                          |                         |
|---|------------|------------------------------------------|-------------------------|
| 1 | 困りごとを絞る    | ADL・IADL・仕事・家事・趣味から、本人が困っている・再開したい作業を具体化 | 優先順位をつけるため、まず3つ程度を目安にする |
| 2 | 実作業を観察     | 工程 / 時間 / 安全 / 疲労 / 代償 / 介助 / 声かけを確認     | 可能なら少なくとも1つの実作業を観察する    |
| 3 | 環境・文脈を確認   | 道具 / 家屋 / 家族支援 / 介助方法 / 職場条件             | 環境変更で改善できる部分を先に確認する     |
| 4 | 必要項目だけ追加評価 | 作業観察から仮説を立て、上肢・感覚・認知・バランスなどを必要な分だけ追加     | 検査の目的を明確に               |
| 5 | 目標・再評価を決める | いつまでに / 何を / どの条件で、を1文にする                | 同じ課題・同じ環境など再評価条件も固定する   |

### 観察結果から「次に何を見るか」を決める

| 観察されたこと         | まず考える            | 次の評価・対応                |
|-----------------|------------------|------------------------|
| 痛み・疲労で途中から崩れる   | 負荷量・安全条件を再確認     | 疼痛 / 全身状態 / 耐久性など      |
| 手は届くが物品操作が不安定   | 把持・巧緻性・感覚の影響を考える | 上肢機能 / 巧緻性 / 触覚・深部感覚など |
| 工程の抜け・順序の乱れ     | 注意・遂行機能・失行などを考える | 認知・高次脳機能の各論評価          |
| 道具・介助位置を変えるとできる | 環境条件の影響を優先して確認   | 環境調整後に再観察              |

### 初期評価で残す最小セット 8項目

|                  |                |                  |                    |
|------------------|----------------|------------------|--------------------|
| 安全条件<br>実施範囲・リスク | 困りごと<br>優先する作業 | 背景・役割<br>生活歴・価値観 | 作業観察<br>工程・時間・安全   |
| 環境因子<br>道具・家屋・支援 | 身体・感覚<br>必要時のみ | 認知・高次脳<br>必要時のみ  | 目標・再評価<br>期限・条件・方法 |

本資料は公式の評価票・標準化尺度ではない。rehabilikunblogが成人OT初期評価の順番を整理するために作成した独自資料。  
対象者の状態・医師の指示・施設基準・手順を優先。